

平成 18 年度 国東市行財政改革の実績 (効果額 2 億 5 , 2 3 7 万円)

国東市行財政集中改革プランに基づき、平成 1 8 年度に取り組んだ行財政改革の実績をお知らせします。

当初の目標額である 1 億 7 , 4 4 3 万円を **7 , 7 9 4 万円** 上回る効果をあげました。

事務事業の再編、整理、廃止、統合 (効果額 1 , 2 3 5 万円)

- ・投票区の統合、選挙事務従事者手当積算単価の見直し【840 万円】
- ・区長研修経費節減【95 万円】
- ・1 1 9 番回線の集中統合等による、消防出張所夜間通信勤務手当の節減【80 万円】
- ・駅伝大会等社会体育事業統合【77 万円】
- ・武蔵大学交流事業経費節減【59 万円】
- ・人権フェスティバルの統合【35 万円】
- ・組織機構改革
 - 国東総合支所機能を本庁に統合
(地域建設課、地域産業課、地域上下水道課、総務課地域調整係の廃止)
 - 安岐地域上下水道課の廃止
 - 武蔵保健福祉センター内に包括支援センター及び地域総合相談支援センターを移設

手当の総点検をはじめとする給与の適正化 (効果額 1 億 2 , 4 3 3 万円)

- ・特別職給料の減額 (市長 1 0 %、助役・収入役・教育長 5 %) 10 月～【112 万円】
- ・一般職員給料の減額 (5 %) 1 0 月～ 【7,363 万円】
- ・管理職手当率のカット (部長 1 0 % 6%、課長 8 % 5%、参事 6 % 4%) 10 月～【566 万円】
- ・時間外勤務手当の削減 (検討委員会の設置や水曜ノー残業デー等の推進による)【4,392 万円】

第三セクターの見直し (効果額 3 1 8 万円)

- ・土地開発公社保有分譲宅地の販売促進【318 万円】

経費節減等の財政効果 (効果額 1 億 1 , 2 5 1 万円)

- ・市税徴収率の向上【600 万円】
- ・上下水道使用料徴収率の向上【635 万円】
- ・遊休市有地の売却【3,288 万円】
- ・公債費の抑制【164 万円】
- ・国体準備経費の節減【240 万円】
- ・通信運搬費の削減 (通知書類直接配布等)【112 万円】
- ・補助金・負担金・交付金の見直し【360 万円】
- ・し尿処理場庭園管理委託料廃止【20 万円】
- ・公共工事の見直し【5,631 万円】
- ・その他【201 万円】